

平成 22 年度 大支部 活動報告 No1

第 4 回 夏季理科授業研修会

1. 共催 大分県小学校教育研究会理科部会
ソニー科学教育研究会大支部

2. 期日 平成 22 年 8 月 24 日 (火)
午前 8 時 30 分 ~ 午後 4 時 00 分

3. 会場 大分大学教育福祉科学部附属小学校

4. 参加者 一般参加者と SSTA 大支部会員



5. 講師：筑波大学附属小学校 森田 和良先生，佐々木 昭弘先生
大分大学附属小学校 山元 一哉先生

授業	指導者	内容	対象学年
授業	佐々木 昭弘 先生	ものの溶け方(5年単元)の活用場面	6年
授業	森田 和良 先生	水よう液の性質(6年単元)	6年
授業	山元 一哉 先生	わたしたちの体と運動(4年単元)	4年

6. 研修会の概要

筑波大学附属小より森田先生，佐々木先生をお招きして，授業研修会を行っています。本年度で，第 4 回目の開催となりました。事後研修会では，ノートの書かせ方など授業の技術などにも話題がおよび学びの多い研修会になりました。

<参加者の感想> (一部抜粋)

言語力とは具体的にどういうものかわかりやすく説明して下さり，とても意義ある会でした。

子どもたちがいろいろな予想をたてていておもしろかった。急に指名されてもしっかりと答える子どもたちを見て，日頃から鍛えられているのだなと思った。

昨年度実験講習会で教えてもらい，今回再度授業を見て実践につなげられそうだ。実験後に再度自分の考えを振り返る時間を設けることは大切だと思った。

モデル図を使ったり，自分の考えをしっかりと説明することの大切さを感じた。

導入のノーベル賞の話がよかった。終末のガラス管の実験も予想や根拠をしっかりノートに位置付けてから見せるべきだと思った。

課題の持たせ方。モデル図から言葉にすることで理解するとの大切さを理解しました。

「溶ける」「混ざる」の違いは難しかったです。モデル図は実践してみたいと思いました。

最後に実験によってまとめができるようにするのはすごいなと思いました。

骨格のモデルを作る作業を通して、一番身近な自分の体についての理解がとても深まっていた。体のほかの部分ももっと知りたいという子どもたちの次時への意欲が感じられた。子どもたちが「分かった」と実感するものとして「もの作り」を通して見えないものが見えるという点でやってみようと思った。考察のまとめが自分だったら手にたくさんあるのは()だからです。その結果、自由自在にものを持ったりつかんだりすることができます。とまとめると思いました。参考になりました。

来年度以降も、取り組みを継続していく予定である。

平成 22 年度 大分支部 活動報告 No2

第 6 回 事務局学習会

- 1 日時 平成 22 年 12 月 26 日 (日)
- 2 会場 大分大学附属小学校 理科室
- 3 参加者 7 名 (須川支部長, 久々宮, 東, 新名, 徳本, 益戸, 板井)

【協議事項】

夏季理科授業研修会の本年度の成果と課題

H 2 4 年度 ブロック特別研修会について

電磁石についての教材研究

その他 (今後の事業計画などについて)